

Protolabs が 2019 年 2 月 7 日に米国ミネソタ州メープルブレインで発表したプレスリリースの抄訳です。

## Protolabs、2018 年度および第 4 四半期決算を発表

**2018 年第 4 四半期の売上高は前年同期比 20%増の 1 億 1,280 万ドル**

**2018 年度の売上高は前年比 29%増の 4 億 4,560 万ドル**

**2018 年第 4 四半期の純利益は前年同期比 35%増の 1,930 万ドル**

**2018 年度の純利益は前年比 48%増の 7,660 万ドル**

Proto Labs, Inc. (NYSE:PRLB 以下、Protolabs) は、2018 年 12 月 31 日を末日とする第 4 四半期および 2018 年度の決算を発表しました。

### 2018 年第 4 四半期の業績ハイライト

- 2018 年第 4 四半期の売上高は、前年同期の 9,420 万ドルから 19.7%増の 1 億 1,280 万ドルとなりました。
- 第 4 四半期に弊社サービスを利用した製品開発者および設計者の数は、前年同期比 18.2%増の 20,403 人となりました。
- 2018 年第 4 四半期の純利益は 1,930 万ドル、希薄化後の 1 株あたり利益は 71 セントでした。
- 非 GAAP (米一般会計原則) ベースの純利益は 2,030 万ドル、希薄化後の 1 株あたり利益は 74 セントとなりました。「非 GAAP 財務指標」については文末のリンクの URL よりご参照ください。

Protolabs の社長兼 CEO、ヴィッキー・ホルトは次のように述べています。「今四半期も弊社の売上高は安定して伸びましたが、第 4 四半期の業績は予想を下回るものでした。四半期初めの売上は好調だったものの、12 月は不調でした。また、近年買収した Rapid Manufacturing 社の業績が予想を下回りました。これらの要因に加えて、米国内での弊社の CNC 工場の移設により、第 4 四半期の生産性に影響が生じ、営業利益の減少につながりました。」

### 2018 年第 4 四半期のその他のハイライト

- 2018 年第 4 四半期の売上高総利益率は 52.5% (前年同期は 56.2%) となりました。
- 2018 年第 4 四半期の売上高に占める営業費用の比率は 34.6% (前年同期は 36.2%) でした。
- 2018 年第 4 四半期の GAAP ベースの営業利益率は 17.9% (前年同期は 19.9%) でした。

- 非 GAAP ベースの営業利益率は 21.2%（前年同期は 25.1%）でした。「非 GAAP 財務指標」については文末のリンクの URL よりご参照ください
- 2018 年第 4 四半期の営業活動によるキャッシュフローは 3,800 万ドルでした。
- 現金および投資の当第 4 四半期末合計残高は 1 億 5,540 万ドルとなりました。
- 普通株 104,600 株を 1,220 万ドルで買い戻しました。

ヴィッキー・ホルトは次のように述べています。「弊社はお客様へのサービス提供と長期的な成長と収益性の拡大に注力しています。第 4 四半期には、今後の成長につながる大きなマイルストーンをいくつか達成しました。お客様への約束を果たしながら、ミネソタ州内での CNC 工場の移設を無事完了したほか、2018 年に弊社サービスを利用した製品開発者の数を 46,000 人近くまで増やしました。さらに、弊社は MIT（マサチューセッツ工科大学）の ADAPT（Additive and Digital Advanced Production Technologies：積層造形および先進的デジタル生産技術）コンソーシアムの創設メンバーとなりました。」

### 2018 年の業績ハイライト

- 2018 年の年間売上高は前年の 3 億 4,450 万ドルから 29.3%増の 4 億 4,560 万ドルでした。これには 2017 年 12 月の Rapid Manufacturing 社 の買収も含まれます。
- 2018 年の純利益は前年の 5,180 万ドルから 47.9%増の 7,660 万ドル、希薄化後の 1 株あたり利益は前年の 1 ドル 93 セントから 2 ドル 81 セントになりました。
- 非 GAAP（米一般会計原則）ベースの純利益は 8,280 万ドル、希薄化後の 1 株あたり利益は 3 ドル 4 セントとなりました。「非 GAAP 財務指標」については文末のリンクの URL よりご参照ください。
- 営業活動によるキャッシュフローは 1 億 2,290 万ドルとなりました。

### 2018 年のその他のハイライト

- 今期に弊社サービスを利用した製品開発者の数は、前年比 22.5%増の 46,000 人近くとなりました。
- 日本でのブランド認知度の向上と需要の拡大のため、株式会社ミスミと提携を結びました。
- 215,000 平方フット（約 2 万平方メートル）の敷地面積を持つ最新のデジタル CNC 切削加工工場に、300 台近くの加工機を含め、弊社の CNC 工場を 6 週間をかけて移設しました。
- 短納期での生産能力、リーン生産の取り組み、昨年中の全体的な事業の発展が認められ、ニューハンプシャー州の工場が、全国的な賞である The Fabricator 誌の 2019 年インダストリーアワードを受賞しました。
- 業界や学会をリードするさまざまな組織とともに、MIT の ADAPT コンソーシアムの創設メンバーとなりました。

ヴィッキー・ホルトは「2018 年は全体的に好調な 1 年でした。創業 20 周年を迎えるにあたり、弊社が誕生して以来成し遂げてきたことを振り返ることは有意義なことです。また、将来を見越してさまざまな機会を発見し、お客様が市場の背景にあるトレンドを利用して市場で成功できるよう手助けできればとも考えています。2019 年は、顧客関係の強化、顧客体験の継続的改善、業務効率の改善を通じて、お客様に貢献することを優先課題としています。昨年の優れた実績を基盤に、成長を促進して株主の方々に長期的に利益を提供できるよう、これらの優先課題を遂行することで、今後もお客様本位の姿勢を徹底します」と締めくくりました。

貸借対照表を含む詳細に関しては米国本社発表の原文をご参照ください。

<https://protolabs.gcs-web.com/news-releases/news-release-details/protolabs-reports-financial-results-fourth-quarter-and-full-year>

※訳注：本資料は米 Proto Labs, Inc.による英文プレスリリースをプロトラブズ合同会社が日本語訳（抄訳）したものです。原文と本抄訳の差異に関しては、原文が優先致します。

(以上)

### プロトラブズについて

プロトラブズは ICT を駆使した独自のデジタル マニュファクチャリング システムにより、カスタムパーツの試作から小ロット生産をオンデマンドかつ画期的な速さで受託製造する会社です。最先端の ICT テクノロジーを最大限に駆使することにより、CNC 切削加工、射出成形パーツを数日で製作します。国内では 2,700 社様以上が利用しており、日本全国の製品開発者に、他に類を見ない早さでパーツを入手できるという価値をお届けしています。プロトラブズに関する詳細は、<http://www.protolabs.co.jp> をご参照下さい。プロトラブズの会社概要は、<http://www.protolabs.co.jp/about> で確認いただけます。

### 当リリースに関するお問い合わせ先

プロトラブズ合同会社マーケティング部

Email: [info@protolabs.co.jp](mailto:info@protolabs.co.jp)